

建設プロジェクト部門

ウランバートル市高架橋建設計画（モンゴル）

- 市内を南北に分断する鉄道路線を跨ぐ鋼製橋梁及びアプローチ道路を建設。
- 重量制限が大きく緩和し、市内・空港間の距離が約3km短縮。少数桁構造、耐久性の高い鋼コンクリート合成床版等の採用により、ライフサイクルコストの最小化を実現。施工時期の最適化、急速施工等で工期を短縮。
- 「日出づる国日本」からのプレゼントとして「太陽橋」と命名。



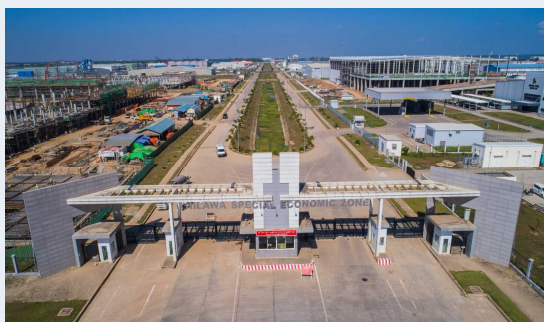
「スナヤン・スクエア」プロジェクト（インドネシア）

- ジャカルタ特別州中心部の商業・宿泊・居住施設からなる都心型大規模複合開発。
- 民間資金を活用したBOTプロジェクトであり、設計・施工・運営を一体的に実施。敷地の緑化、テロ・災害対策、長期修繕計画の策定など、環境性能や強靭性・経済性も備えた質の高いインフラを実現。
- 我が国企業による海外都市開発のショーケース。



ティラワ経済特別区ゾーンA開発工事（ミャンマー）

- 日ミャンマー両国が官民を挙げて取り組む大規模工業団地開発事業の初期開発工事。
- 両国官民の資金を動員し、多くの日系企業の進出を後押しして経済発展に貢献。工程管理、品質管理等を現地エンジニア・作業員・現地企業に丁寧指導して生産性を向上させ、工期を遵守。
- 日本の設計基準による高品質で環境に配慮したインフラ整備を実現。



ネアックルン橋梁建設計画（カンボジア）

- 南部経済回廊を構成する国道1号線上に2.2kmの長大橋と3.3kmのバイパス道路を建設。
- ボトルネックになっていたメコン川を短時間かつ無料で渡河可能になり、経済発展に大きく寄与。5,000tの外洋船も通過可能な長大橋を、耐久性・強靭性を確保しつつ低いトータルコストで設計・施工。
- 「つばさ橋」と命名され、現地紙幣のデザインにも採用。



建設プロジェクト部門

パハン・セランゴール導水トンネル (マレーシア)

- ▶ 人口が急増する首都クアラルンプール周辺の生活・工業用水を確保するための導水トンネル建設プロジェクト。
- ▶ 直径5.2m、トンネル延長44.6km(東南アジア最長)、最大土被り1,246mで山脈を貫くトンネルを、高精度の測量と高い施工技術で高品質を確保。
- ▶ 緩い下り勾配とすることで下流揚水設備を不要とし、ライフサイクルコストを縮減。



ハマド国際空港 (カタル新ドハ国際空港旅客ターミナル・コンプレックス) (カタル)

- ▶ 世界最大級の新空港を建設する国家プロジェクトとして、年間旅客2,400万人対応の旅客ターミナル等を建設。
- ▶ ウェーブ型の屋根を支えるアーチ部分に係る変更提案を行い、施工性の大幅な向上とコストの縮減を実現。
- ▶ リプログラミング時点で設計部門、エンジニアリング部門他の効果的な人材を投入してゼネコンの総合力を発揮し、プロジェクトを円滑に推進。



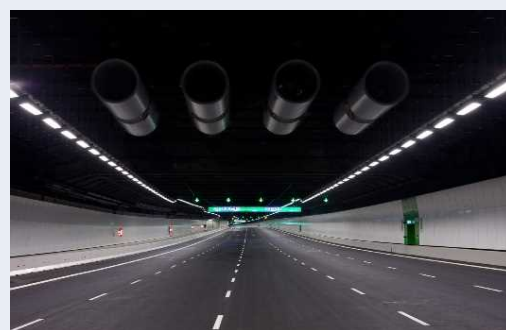
ボスポラス海峡横断鉄道プロジェクト (トルコ)

- ▶ イスタンブール市を分断するボスポラス海峡に横断トンネルを敷設し、欧州側とアジア側を地下鉄で結ぶ、「トルコ150年の夢」とされた計画。
- ▶ 速く複雑な潮流下での世界最深の沈埋トンネル施工に加え、世界で初めて海中で沈埋函とシールドトンネルを接合。遺跡が多い歴史市街地区下での施工と合わせ、日本企業の高度な技術力を発揮。
- ▶ 両国の友好関係を象徴する大型協働プロジェクト。



マリーナ地区高速道路485工事 (シンガポール)

- ▶ 国内最大となる片側5車線の地下トンネル高速道路建設工事(うち約420mは国内初の海底トンネル)。
- ▶ 近隣の河口堰からの放流を妨げないように、河口部を半分ずつ施工。
- ▶ ステージ1で2年以上使用した仮設鋼材をステージ2にも使用する世界初の作業を実施。日本製汚濁防止膜を使った汚濁防止対策が政府のモデル工事に採用。



建設プロジェクト部門

三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン (マレーシア)

- クアラルンプール国際空港内に本格的アウトレットモールを開業したフラッグシッププロジェクト。
- 空港施設と親和性の高い施設を一体的に整備するというマレーシア政府の「エアロポリス計画」最初の開発案件。
- 日本で培った開発・運営・リーシング等のノウハウを存分に活用し、約200店舗が入居、多くの雇用等を創出。



I-70ツイントンネル拡幅工事 (アメリカ)

- デンバー市内とロッキー山脈のスキーリゾートを結ぶ幹線高速道路の既設山岳トンネル拡幅工事。
- CM/GC契約方式による設計段階での適切な施工リスク抽出と対応策の明確化により、遅延なく工事を完成。
- 現地子会社の動員力とノウハウに、自社の高度なトンネル技術を融合。現地でも高評価。



中堅・中小建設企業部門

機動建設工業株式会社（大阪府）

- 推進工法技術の普及・啓発活動を通じてインドネシアやミャンマーにて事業を実施。
- 現地における技術・積算の規格基準の作成や、現地技術者を日本に招へいしての研修等、技術移転にも大きく貢献。



酒井重工業株式会社（東京都）

- 現地における生産拠点の整備や技術指導を行いながら、建設重機や機械の製造販売を実施。
- 各国の環境基準にあわせた商品を揃え、社会・環境面の影響にも配慮した事業を実施。



JESCOホールディングス株式会社（東京都）

- 電気設備及び電気通信設備工事に係る設計積算／施工管理の両部門において、的確なリスク管理を行いながら戦略的に事業を展開。
- 独自の語学教育、技術指導で人材育成や技術移転にも大きく貢献。



大有建設株式会社（愛知県）

- ベトナム政府から新技術としての暫定認定を受けた自社開発の優れた排水性舗装用アスファルト改質剤により、道路・舗装関係の事業を展開。
- 日本の技術基準に独自技術を加え、耐久性に優れた資材を現地に供給。



中堅・中小建設企業部門

玉田工業株式会社 (石川県)

- ▶ 日本で特許を有する成形方法によるSF二重殻タンクの製造販売や、老朽化した地下タンクのライニング(繊維強化プラスチック積層)施工の技術供与により、東南アジアにおいて継続的な事業を展開。



丸新志鷹建設株式会社 (富山県)

- ▶ 研修生の受け入れをきっかけとした現地とのネットワーク構築、現地の大規模な公共土木事業をはじめとした継続的な事業展開等、中堅・中小建設企業の海外展開として先駆的な取組を実施。



ヤスダエンジニアリング株式会社 (大阪府)

- ▶ 推進工法技術と優れた事業戦略により、ベトナムにて大型の水環境改善事業を実施。
- ▶ 推進工法についてのベトナム版の規格基準の作成や人材育成等、普及促進にも尽力。

